2022 年度

その他ガス排出量算定報告書

記入例

1　指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称	○○工場
事業所の所在地	東京都八王子市○○町一丁目１番１号

①

2　排出量の算定根拠

(1)　水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水

排出活動の種類	前年度活動量		温室効果ガス排出量	
	活動量	単位	排出係数	排出量(t)
水道及び工業用水道の水の使用	88.3	千㎥	0.266	23.5
公共下水道への排水	78.8	千㎥	0.400	31.5
合計				55

②

(2)　事業所内における温室効果ガスの排出に係るその他の排出活動

排出活動の種類	前年度活動量		ガス種類	温室効果ガス排出量（当該物質の量）		温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）	
	活動量	単位		排出係数	排出量（t）	地球温暖化係数	排出量（t）
変圧器等電気機械器具の使用	0.5	t	SF_6	0.0010	0.0005	22,800	11

ア　イ　ウ

③

ガス種類別合計		
	非エネルギー起源二酸化炭素（CO_2）	
	メタン（CH_4）	
	一酸化二窒素（N_2O）	
	ハイドロフルオロカーボン（HFC）	11
	パーフルオロカーボン（PFC）	
	六ふっ化いおう（SF_6）	
	三ふっ化窒素（NF_3）	

④

・記入に当たっては、以下の内容にご注意いただき、黄色又は薄黄色に着色された欄に記載してください。（それ以外の欄は自動入力されます。）

・登録検証機関による検証は不要ですが、その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減量に充当する場合は、別途認定申請が必要です。

①事業所の名称・所在地
地球温暖化対策計画書提出書へ記載するものと同じ事業所の名称、所在地を記入してください。
（「指定地球温暖化対策事業所の指定に係る確認書」等の都へ届け出た事業所名・所在地を記載）

②水道・下水道における排出活動
水道の使用量　及び　公共下水道への排水量　を「千㎥」単位で記載してください。　※1

③その他の排出活動
事業所内における　その他ガスの排出を伴う活動　及び　活動量　を記載し、排出量を算定してください。ただし、二酸化炭素換算量が10t未満となる活動は、算定を省略することができます。

活動量とは
温室効果ガスの排出量と相関のある排出活動の規模を表す指標です。
排出活動の種類により異なりますが、例えば生産量・使用量・焼却量などが該当します。

㋐単位／ガス種類
プルダウンから選択してください。該当するものが無い場合は、手動入力することもできます。

㋑当該物質の温室効果ガス排出量（排出係数／排出量）　※1
排出係数は、地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度によるものの採用を原則としますが、実測等に基づく方法で別途算定した排出係数を使用することもできます。
排出量は、活動量×排出係数　から算出した値を記載してください。

また、「排ガスの実測・物質収支・モデル計算」といった、排出係数を使用せずに排出量を算定する場合は、係数は空欄とし、算定した排出量のみを記載してください。

活動別の算定方法の考え方は、
「その他ガス排出量算定ガイドライン」19～20ページをご覧ください。

㋒二酸化炭素換算の温室効果ガス排出量　（地球温暖化係数／排出量）　※1
地球温暖化係数は、「その他ガス排出量算定ガイドライン」7～8ページの「第2計画期間」の値を記載してください。
排出量は、当該物質の排出量×地球温暖化係数　から算出した値を記載してください。

第2計画期間より「三ふっ化窒素」が追加となっておりますので、ご注意ください。

④ガス種別合計
ガス種別ごとに、㋒の「二酸化炭素換算の排出量」を合算した値を記載してください。
また、記載した値は、地球温暖化対策計画書その3シートに正しく転記してください。

※1
その他ガスの計算は、有効数値を合わせる必要があります（左記の点線枠内の値が該当します。）。
各値を乗じた結果を記載する項目も、必ず、計算結果の数値を記載してください。
有効数字の考え方は「その他ガス排出量算定ガイドライン」9～13ページをご覧ください。